

タンネウシ



10

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

月号

ロビー展「はたおり作品展」

第28回はたおりの会作品展です。会員のみなさんの新作をご覧ください。期間中、はたおりの会のメンバーが会場にいる時は、はた織り体験も可能です。▶期間：10月5日(水)～25日(木)▶場所：交流記念館ホール▶観覧無料▶はたおり体験無料



土星と秋の星座観察会

空気が澄んで星がきれいに見られる季節です。土星・アンドロメダ大星雲・おうし座のすばるなどを観察しましょう▶日時：10月14日(土) 19:00～20:30▶集合解散：知床博物館▶要申込み▶担当：合地学芸員 ※悪天時、翌日15日に順延

今年の展示更新

今年も少しずつですが、あちこちのコーナーで展示を入れ換えています。展示を見ての色々な感想をお待ちしています。

考古コーナーの細石刃核：カミソリのような細長い刃を連続して作るための核となる石。越川の畑で見つかった旧石器時代の道具です。**民俗コーナーのコンプラ瓶：**江戸～明治



期にかけて長崎県波佐見で生産されていた3合ほどの白磁瓶。本資料は知床岬にてアイヌの人々が使用したものです。**漁業コーナーのプロジェクトクマッピング：**海の恵みに支えられた生き物たちと漁業の姿を映像で紹介しています。**植物コーナーの木ノ葉：**ひとくちに木の葉といっても驚くほどの多様な形、また造形美にあふれています。斜里でみられる木々の葉をたくさん展示しました。



ミュージアムショップ情報

「ドコ・ココ・シレットコ」でおなじみのトコさんグッズの取り扱いを始めました。石川直樹さんの最新写真集「知床半島」や多くの町民が写った知床本もあります。

早朝草取りボランティア

今年最後の草取りです。6月からのボランティア、ご協力ありがとうございました。最終日もよろしくお願いいたします▶日時：10月10日(火) 6:00～7:00▶場所：野外観察園(博物館裏)▶雨天中止



今月の学芸員のイチオシ!



ルーベ 野外で植物の名前を調べるのに必要なのが虫眼鏡(ルーベはドイツ語)。小さく軽いものを首から提げます。ポシュロム社のヘイスティングス型14倍のものをメインに、東海産業社ピークのシュタインハイル型10倍を予備に持ち歩いています。(内田)

休館日 2・16・23・30日の月曜日と10日火曜日です。9日(祝・月)は開館します。**編集後記** ロビー展「駅名板...」は、多くの鉄ちゃん、鉄子さんと賑わいました。斎藤さんの後任は、菅野智美さんに決まりました。協力会担当です。よろしくお願いいたします。(ひら)